

今週（7月6日から7月10日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールON物は、0.977～0.978%近辺での出会いが中心となった。加重平均レートは、週を通して0.977～0.978%となっており、試し取りにより多少上昇する程度となった。市場残高は3兆円台半ばと概ね先週と同水準で推移した。

ターム物は、保険業態による付利以下での運用と、証券業態やネット銀行による実需での調達が中心となり、0.9台後半～1.3%程度での出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、国債の発行や償還はあったものの週を通して大きく増減せず、430兆円台半ば程度で推移した。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場GC T/N物の出会い水準は、概ね1.005%前後での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが軟調に推移した。

8日に実施された6M物入札は、事前予想対比で低調な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは軟調に推移した。

10日に実施された3M物入札は、テールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

CP市場は、石油、建設、卸売等複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は、7月に入り7日連続増加が続き、6月末の24兆円台半ばから7月9日時点では25兆円台後半まで増加している。

発行レートは、引き続き1%以上で推移しており、期間1カ月程度の短い案件では1%台前半から半ばを中心に落ち着いた地合いが継続している。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/6 (月)	69,737.69	2.830	161.57	0.977	1.000	4,344,500
7/7 (火)	68,256.96	2.841	162.14	0.978	1.000	4,358,500
7/8 (水)	66,819.05	2.865	162.34	0.978	1.000	4,351,500
7/9 (木)	67,743.85	2.875	162.46	0.978	1.000	4,365,700
7/10 (金)	68,557.73	2.760	162.09	0.977	1.000	4,347,600

翌週（7月13日から7月17日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
7/13 (月)				6月の米財政収支
7/14 (火)		20Y物 7/15発行 7,000億円	交付税借入 7/24借入 12,000億円	6月の米消費者物価指数
7/15 (水)	5月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)			6月の米生産者物価指数 米ページブック
7/16 (木)		TDB1Y物 7/21発行 28,000億円	流動性供給 7/17発行 7,000億円	6月の米小売売上高 5月の米企業在庫
7/17 (金)	5月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB3M物 7/21発行 38,000億円		6月の米住宅着工件数 7月のミシガン大消費者信頼感指数速報 6月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月のユーロ圏消費者物価指数改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/13 (月) 日銀予想	300	▲ 20,300	▲ 20,000	国債補充供給 社債等買入	1,100 ▲ 200		900	▲ 19,100	TDB3M発行▲38,000償還46,000
7/14 (火) 弊社予想	100	▲ 1,000	▲ 900				0	▲ 900	源泉所得税揚げ 労働保険料揚げ 社会保障費・運営費払い等
7/15 (水) 弊社予想	▲ 200	▲ 9,800	▲ 10,000				0	▲ 10,000	個人向け発行▲8,000(見込) 償還700 20Y発行▲7,000
7/16 (木) 弊社予想	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
7/17 (金) 弊社予想	▲ 300	▲ 4,000	▲ 4,300				0	▲ 4,300	交付税借入▲11,000期日13,000 流動性供給▲7,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、試し取りを除いて0.977~0.978%近辺、ターム物は0.9台後半~1.3%程度での出会いが中心となることが予想される。債券レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、GC T/N物のレートは1.00~1.01%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、16日(木)に1Y物、17日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行が予定されており、動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では15日(水)に5月の機械受注統計、17日(金)に5月の石油等消費動態統計、海外では14日(火)に6月の米消費者物価指数、15日(水)に6月の生産者物価指数、米ページブック、16日(木)に6月の米小売売上高、17日(金)に6月の米住宅着工件数、7月のミシガン大消費者信頼感指数速報、6月の米鉱工業生産・設備稼働率、6月のユーロ圏消費者物価指数改定値などが公表予定である。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。